

平成23年第4回国立大学法人旭川医科大学経営協議会議事要旨

1. 日 時 : 平成23年12月16日(金) 15:00～15:54
2. 場 所 : 第二会議室
3. 出席者 : 吉田 晃敏学長, 笹嶋 唯博理事, 松野 丈夫理事, 飯塚 一理事,
藤尾 均副学長, 高橋 剛委員, 宮間 利一委員, 宮本 光明委員,
松田 忠男委員
4. 欠席者 : 表 憲章委員
5. 陪席者 : 宮森 雅司監事, 前田 敬道監事, 太田 貢学長政策推進室長, 佐藤監査室長,
伊藤事務局長, 中村総務部長, 高橋病院事務部長, 石ヶ森教務部長,
山内総務課長, 藤井企画評価課長, 今田会計課長, 中西施設課長, 堤総務課長補佐,
国井総務課長補佐, 滝本会計課長補佐, 松井総務係長, 山村総務係主任

議事に先立ち、学長から、経営協議会の委員の構成については、参考資料1-1の経営協議会規程第3条に基づき、参考資料1-2のとおりである旨説明があった。

次いで、学長から、平成23年第3回(平成23年6月20日開催)経営協議会の議事要旨が諮られ、これが了承された。

議 題

1. 経営協議会学外委員からの学長選考会議委員の選出について

本件について、学長から発議及び資料1に基づき説明があり、審議の結果、国立大学法人旭川医科大学学長選考会議規程第3条第1項第1号に基づき、経営協議会の学外委員5人全員を学長選考会議委員として選出することが了承された。

2. 平成24年度再雇用希望者について

本件について、学長から発議があり、次いで、山内総務課長から資料2に基づき、以下の説明があった。

①平成24年度における再雇用希望者は、本年度定年退職者7名、22年度定年退職者3名、21年度定年退職者7名、20年度定年退職者4名の併せて21名であること。

②本年度定年退職者7名は、全員が「再雇用契約職員の対象となる基準」を満たしていること。

③平成20年度から22年度の定年退職者14名についても、引き続き再雇用を希望しており、勤務状態も良好であるため、問題はないと判断したこと。

審議の結果、原案のとおり、平成24年度における再雇用希望者全員を雇用することが了承された。

3. 技術職員の後任補充について

本件について、学長から、定年退職等に伴う後任補充は原則行わないこととし、補

充の必要性については役員会で協議し対処することとなっていたが、病理部長及び臨床検査・輸血部長から、定年退職者に係る後任補充について要求があったことについて、発議があった。

次いで、山内総務課長から資料3に基づき、以下の説明があった。

- ①本年度末の医療職の定年退職者のうち、病理部技師長及び臨床検査・輸血部副技師長の2名が再雇用を希望していないため、医療職従事者が2名欠員となること。
- ②病理部長及び臨床検査・輸血部長から、業務上、どうしても後任補充をして欲しいとの強い要望があり、更に、非常勤職員では身分が不安定で、質の高い優秀な職員の確保ができないことから、常勤職員で補充願いたいとの申し出があったこと。

審議の結果、病院の運営上必要であるため、今回欠員となる医療従事者については、「定年退職に伴う後任不補充の原則」を適用しないこととし、常勤職員での補充を認めることが、了承された。

4. 分娩手当の新設について

本件について、学長から発議及び次のとおり説明があった。

- ①産科医等が減少する中、産科医等の待遇を改善し、産科医等の確保を図るため、分娩手当を新設すること。
- ②この手当の新設に伴う本学職員給与規程等の一部改正案を、資料4のとおり作成したこと。

次いで、山内総務課長から資料に基づき説明があった。

審議の結果、原案のとおり、分娩手当を新設し、職員給与規程等を一部改正することが了承された。

なお、学長から、平成23年11月1日から平成26年10月31日まで支給することとし、手当の継続については3年間の実績状況を勘案し決定する旨付言があった。

報告事項

1. 学長報告

学長から、次のとおり報告があった。

(1) 平成22年度に係る業務の実績に関する評価結果について

国立大学法人評価委員会から、資料5-1～5-3のとおり、平成22年度に係る業務実績に関する評価結果について通知があったこと。

次いで、藤井企画評価課長から、資料に基づき、評価結果の内容について、説明があった。

引き続き、学長から、国立大学法人の改革推進状況では、①病院収入の確保に向けた取り組み、②学生の経済的支援を目的とした「授業料特別貸与制度」及び「奨学資金貸与制度」の創設、③学生の国際化を目的とした「学部学生海外活動助成制度」の創設の3事例が取り上げられており、本学としては、過去最多である旨付言があった。

(2) 平成23年度国立大学法人施設整備費補助金（大学教育研究特別整備費）補助

事業について

医学科入学定員を22名増員してきたことなどにより、臨床講義棟講義室の座席不足が見込まれること。

資料6のとおり、文部科学省から「医学科定員増に伴う臨床第2・第3講義室及びロッカー室改修事業」の予算が措置されたこと。事業内容は、臨床講義棟の臨床第2・第3講義室の座席を増やすとともに、視聴覚設備を更新すること。

また、隣接するロッカー室の更新及び増設し、さらに、セキュリティ向上を図るため出入口管理システムを導入すること。

(3) 平成23年度第3次補正予算について

文部科学省より、資料7-1のとおり、平成23年度第3次補正予算の予定事業2件の通知があったこと。

1件目は、「講義実習棟の改修工事」であり、2年計画のI期目として、措置されたこと。改修範囲については、資料7-2のとおりであること。

2件目は、「自家発電設備の更新」であり、災害時に求められる診療機能や研究機能の確保のために予算措置されたこと。

(4) (救命救急センター) ICUの整備事業に係る予算の示達について

資料8のとおり、北海道では、厚生労働省の「地域医療再生臨時特例交付金」を活用した「新たな地域医療再生計画」事業を策定したこと。この計画は、三次医療圏を対象に、医療提供体制の課題を解決・整備しようとするもので、総事業費の2分の1が補助金で賄われること。

北海道から、救命救急センター機能強化事業として、本学に対し強い要望のあったPICU(小児集中治療室)を含めたICU(集中治療室)の整備事業にの内示があったこと。

ICUの増床については、昨年10月に救命救急センターを設置したが、重篤患者が多く絶対数が不足している状況もあり、予算内示額を考慮して4床の整備を行いたいと考えていること。

なお、本件については、11月9日開催の役員会で審議・了承されており、施設整備に1年は必要であることから、改修場所や運営方針等を決定するための検討委員会を設置した旨学長から付言があった。

(5) MRI(3テスラ)の導入について

現在、MRIを3台保有しているが、すべて1.5テスラであること。そのうち平成14年度に導入したMRIは耐用年数を既に超えていること。

高度な撮像機能の向上と高磁場環境による検査の安全性と効率化を目的に、3テスラのMRIに更新することとし、研究・診療レベルの向上を図ること。

(6) 人工透析室の増床工事終了及び稼働開始について

中西施設課長から、資料10に基づき、次の説明があった。

人工透析室を移転し、現在の3床から6床に増床する工事が、11月18日に

完了し、11月28日より新透析室として稼働したこと。

(7) 乳腺疾患センターの設置について

我が国の乳癌罹患数は年間5万人を超え、女性の癌罹患数の中では第1位であり、今後も増加すると考えられていること。資料11のとおり、本学病院の2010年の乳癌手術症例は200例であり、全国の大学病院に比較して屈指の実績があり、道北を中心に、乳癌をはじめとする乳腺疾患の専門拠点病院としての役割は、益々大きくなると考えられること。

そのため、①系統的な乳腺疾患診療体制の確立、専門領域の分担制、チーム医療の確立、②患者サービスの更なる向上、③乳腺専門医の育成 を目的として、新たに「乳腺疾患センター」を設置することが、9月14日開催の役員会において、審議・了承されたこと。関連規程等については、10月12日開催の病院運営委員会において承認されたこと。

なお、乳腺疾患センターは、11月1日付けで設置し、規程も同日施行した旨学長から付言があった。

(8) 本学初の生体肝移植の実施について

資料12のとおり、本学初の「生体肝移植手術」を、外科学講座消化器病態外科学分野の古川教授を中心として、10月下旬と11月上旬に実施したこと。

院内関係部署のスタッフ及び北海道大学の協力により、無事に終了したこと。患者は、胆道閉鎖症の1歳の男児で、両親から肝臓の一部を移植したこと。

なお、特定機能病院として、先端医療を更に推進させていきたい旨学長から付言があった。

(9) 寄附金の受入について

平成23年度6月分～11月分の寄附金受入状況については、資料13のとおりであること。

(10) 受託研究、共同研究の受入れについて

平成23年10月末までに受入れを決定した受託研究及び共同研究については、資料14-1及び14-2のとおりであること。

(11) 第9回産学官連携功労者表彰「文部科学大臣賞」の受賞について

資料15のとおり、吉田学長とソフトバンクBB(株)社長兼CEOの孫正義氏に対し、第9回産学官連携功労者表彰の「文部科学大臣賞」が受賞されたこと。この受賞は、「ICTを用いた『切れ目のない医療支援体制』の確立」をテーマに、孫正義ソフトバンクBB(株)社長兼CEO等と連携し、検査映像等をリアルタイムに伝送できる遠隔医療ネットワーク構築技術を開発するとともに、携帯電話を「鍵」とする本人認証技術、早期退院患者をフォローアップできる遠隔在宅医療システムを開発し、これらをネットワークで結ぶ世界最大の遠隔医療支援体制を確立したことが、高く評価されたものであること。

なお、表彰式は、9月22日に行われたこと。

(12) 環境報告書2011の公表について

「環境報告書2011」を配付しているので、ご覧いただきたいこと。

次いで、中西施設課長から、次のとおり説明があった。

- ①この環境報告書は、事業年度ごとに毎年9月末日までに公表することが義務付けられており、環境方針や実施計画、環境への取組状況、事業活動に伴う環境負荷等を記載していること。
- ②本学の特色ある取組や社会貢献活動などを、特集記事として紹介し、社会にアピールする構成としていること。
- ③特集1は「災害医療への取り組み」として、東日本大震災でのDMATチーム及び医療救護班の活動について、また、特集2は「Asahikawa Campus」として、「HI・RO・BA」を拠点とした情報発信や学生組織「はしっくす」の活動など旭川ウェルビーイング・コンソーシアムの取り組みを紹介していること。
- ④その他、遠隔医療センターの地域貢献や中国衛生部との無償援助協定締結、道北ドクターヘリ事業など地域医療の取り組みや社会環境への貢献などについても掲載していること。
- ⑤環境報告書は、本学ホームページ上でも公表していること。

なお、これに関連して、学長から、遠隔医療の取り組みとして、3日前に北京と内モンゴルが、2日前に北京と本学が、立体ハイビジョンで繋がったこと。来年3月までに、本学と北京・上海・内モンゴル・四川省の成都の5地点で開所式が行われる予定であること。外務省からも激励があった旨付言があった。

(13) 病院情報管理システムに関する訴訟について

高橋病院事務部長から、資料16に基づき、報告があった。

(14) 議長の職務代行について

参考資料1-1の国立大学法人旭川医科大学経営協議会規程第5条第3項に「学長に事故があるときは、あらかじめ学長が指名した理事がその職務を代行する。」ことと規定されていることから、飯塚理事を指名したこと。

(15) その他

・日本経済新聞掲載記事について

学長から、次のとおり報告があった。

日本経済新聞掲載記事を資料として配付しているので、ご覧いただきたいこと。これは、「知を拓く 旭川医科大学」として、5回の連載で、本学の取組が紹介されたものであること。

・ウェルネットリンクについて

宮間委員から、本学が取り組んでいる「ウェルネットリンク」への提携先として、参加を前向きに検討したい旨発言があった。

2. その他

学長から、次回の経営協議会は、日程調整の上開催する予定である旨の報告があった。

以上

平成23年第4回国立大学法人旭川医科大学経営協議会

議 題

1. 経営協議会学外委員からの学長選考会議委員の選出について
2. 平成24年度再雇用希望者について
3. 技術職員の後任補充について
4. 分娩手当の新設について

報告事項

1. 学長報告
 - (1) 平成22年度に係る業務の実績に関する評価結果について
 - (2) 平成23年度国立大学法人施設整備費補助金（大学教育研究特別整備費）補助事業について
 - (3) 平成23年度第3次補正予算について
 - (4) (救命救急センター) ICUの整備事業に係る予算の示達について
 - (5) MRI（3テスラ）の導入について
 - (6) 人工透析室の増床工事終了及び稼働開始について
 - (7) 乳腺疾患センターの設置について
 - (8) 本学初の生体肝移植の実施について
 - (9) 寄附金の受入について
 - (10) 受託研究，共同研究の受入れについて
 - (11) 第9回産学官連携功労者表彰「文部科学大臣賞」の受賞について
 - (12) 環境報告書2011の公表について
 - (13) 病院情報管理システムに関する訴訟について
 - (14) 議長の職務代行について
 - (15) その他
 - ・日本経済新聞掲載記事について
 - ・ウェルネットリンクについて
2. その他
 - ・次回開催日について

(資 料)

資料番号

(参考資料1-1) 国立大学法人旭川医科大学経営協議会規程

(参考資料1-2) 国立大学法人旭川医科大学経営協議会委員名簿

- 1 国立大学法人旭川医科大学学長選考会議規程
 - 2 平成24年度再雇用希望者一覧
 - 3 平成24年度再雇用希望者一覧
 - 4 旭川医科大学職員給与規程の一部を改正する規程(案)等
 - 5-1 国立大学法人旭川医科大学の平成22年度に係る業務の実績に関する評価結果
 - 5-2 国立大学法人・大学共同利用機関法人の平成22年度に係る業務の実績に関する評価の概要
 - 5-3 【平成22年度評価】国立大学法人・大学共同利用機関法人の改革推進状況
- (参考資料) 第2期中期目標期間における業務の実績に関する評価結果の概要
- 6 平成23年度国立大学法人施設整備費補助金(大学教育研究特別整備費)補助事業
 - 7-1 平成23年度第3次補正予算の予定事業
 - 7-1 講義実習棟改修計画
 - 8 地域医療再生計画に基づくICU整備事業の概要
 - 10 透析室配置図
 - 11 関東以北の大学病院における乳癌手術症例数
 - 12 生体肝移植についての新聞報道記事
 - 13 寄附金受入一覧(平成23年6月分～11月分)
 - 14-1 平成23年度 受託研究一覧
 - 14-2 平成23年度 民間等との共同研究一覧
 - 15 文部科学大臣賞
- 番号なし 環境報告書2011
- 16 病院情報管理システムに関する訴訟について
- 番号なし 日本経済新聞連載記事「知を拓く」